

アナログかデジタルか？

先日、保護者の方から、「何でも『きたコン』を使うのではなく、紙のノートに字を書くことも大切ではないですか？」と言うご意見をいただきました。

全ての学習活動には、活動のねらいがあります。文字を正しく書くことがねらいの場合は、画面上よりも紙に書く方が、お手本のとおりに書きやすいことが考えられます。

一方、学習や自分の考えをまとめることがねらいの場合などは、「きたコン」を使う方が効率よく文章を作成できる上に、全員の文章をすぐに共有して友達の多様な考えを知ることができると思います。

そのように、ねらいによって紙面（アナログ）と「きたコン」（デジタル）の使い分けをしています。最近は更に工夫が進み、授業のまとめや振り返りで紙のワークシートと「きたコン」用のワークシートファイルの両方を用意して、児童・生徒が選べるようにすることもあります。

紙のワークシートに書いた場合は、「きたコン」のカメラで撮影して、画像として提出しますので、共有することもできます。アナログとデジタルのいいところ取りに重ねて、児童・生徒の特性に合わせたハイブリッドな工夫と言えるでしょう。



◀学習の振り返りで、手書きのワークシートを「きたコン」で撮影して提出します。

「きたコン」の故障を防ぎましょう①

「きたコン」は、児童・生徒が使用するため、丈夫な筐体を選定しました。とはいえ、精密機械ですので扱い方によって故障する場合があります。

「きたコン」は卒業後、他の児童・生徒が使う可能性があります。「きたコン」の故障リスクを減らすため、次のことに気を付けて、大切に使いましょう。

●上に物をのせないようにしましょう

上に荷物を載せたり、手を置いて体重を掛けたりすると、液晶や基盤が圧迫され、故障につながります。

「北区GIGAスクール通信 みらい」は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、学び未来課が毎月発行いたします。

きたちゃんコンちゃん by Toshi



ご家庭でもご協力をお願いいたします。